

益城の文化財

黒林天神 (平田上)



本尊毘沙門天像

平田の堤の上、農免道路から東へ入った山林の中に黒林の集落跡があります。資料によると、この集落は約800年以上前からあったようです。この集落跡の中央付近に「毘沙門天」・「天神」・「年の神」が祀られています。脇侍に観音と薬師が安置されている「毘沙門天」は、四天王の一つで、北方を守護する神です。黒林の地域一帯を守護する神として「天神」と一体関係で祀られ、神仏習合の形を表わし、自然信仰の形態を示しています。「天神」は津森神宮の『社殿旧記』によると、応永元(1394)年に勧請され、祭神は「天神十二柱」、御神体は椎の木で、天地神祇を祭祀している自然神です。「年の神」は大歳すさのおのみことの神のことで、素戔嗚尊の子で穀物の守護神です。また、ここには「水神」も祀られ、湧水が堤の水源地となっています。

平成10年頃までは座祭りが行われていました。

	堂籠り	座祭り
毘沙門天	12月2日	12月3日
天神	12月14日	12月15日
年の神		1月16日

また、「節頭渡し」も行われていました。備え付けの木箱の上に領収書と皿をのせ、座元が皿に注がれたお神酒を3回飲み、次の人に渡していきます。そして最後は翌年に座元を務める人がお神酒を飲み干し一巡した後、謡曲の『鞍馬天狗』が歌われます。

近年、高齢化や過疎化などで出席する家々が減少したことから、日曜日の朝から掃除をして座元の家でおのおの座祭りが行われています。

参考文献 『益城町史 通史編・民俗資料編』
 益城町史編纂委員会／編
 『ましきの史跡さんぽ』 河原三代志／著
 『ふるさとの地名漫歩』 松野 國策／著
 益城町文化財保護委員会

おたより紹介

広報クイズ投稿の中から、意見・感想を一部紹介させていただきます(敬称略)。匿名を希望される場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもOKです。また、イラストも募集しています。

- ☑ 町を歩けば益城の文化財、33か所もあるなんて驚きました。すばらしい歴史のあるものばかりで「地域の宝」ウォーキングマップが作成されるのが楽しみです。 田原 尾崎佐千子
- ☑ 夏祭りの花火をわが家のベランダから眺めました。キノコの形の花火もはっきりと見えて感動しました。益城の花火は最高ですね！ 広崎 渡邊 友子
- ☑ 裏表紙の営業の仕事をする齊藤わかさんの記事を読みまして、営業は人を売るのが仕事なんだということがよく分かり勉強になりました。ありがとうございます。 P.N 秋桜
- ☑ 9月に入り朝晩は涼しくなりましたね。今年はよく雨の降る夏でしたが、秋はどうでしょうか？ 食欲、スポーツ、芸術？ わが家はきっと今年も食欲です。 P.N ごはん大好き

わが家の天使



てらかわ あきら
寺川 明 くん
 (福 富)
 初めての保育園、頑張ってます！
 ラップ吹きと苺と可愛いお姉さんが大好きです☆
 パパ 智さん ママ 孝子さん



ありぞの
有園まこと ちゃん
 (惣領3町内)
 5か月になりました。
 じいじ、ばあば、これからも沢山遊んでね！大好きなパパ、誕生日おめでとう♡
 パパ 佳史さん ママ 可奈恵さん